

One Sunday morning Emma went to the next town by train to paint.

〈不定詞〉かくために

She walked around the town and found a small, old temple.

There were many cherry trees with beautiful blossoms on its grounds.

～がありました

(寺の) 境内

She saw an old priest there. He looked as old as her grandfather.

年をとった

…と同じくらい年をとった

She spoke to him, “Excuse me.

～させていだいてよろしいですか

May I come onto the grounds to paint a picture of those blossoms?”

～へ

He said, “Of course. Enjoy painting.”

〈動名詞〉かくこと

When Emma was painting, it suddenly started to rain. She felt cold.

〈When へ〉～するとき

〈feel へ〉～に感じる

Then the priest appeared and said, “Please come in. It’ll stop raining soon.”

雨が降ること

He gave her vegetable soup and said, “Do you feel cold? Eat this hot soup.”

野菜スープ

“Thank you. Oh, the vegetables in this soup are very delicious!” Emma said.

He said, “They are organic vegetables.

This town is famous for organic vegetables.

They are more expensive than other vegetables but they are better for your body.

…よりも高い

よりよい

They are worth buying.”

〈worth へing〉～するだけの価値がある

She said, “I didn’t know that. Where can I get them?”

“You can buy them at a farmers’ market near the station.”

When she was going back to the station, she found a farmers’ market.

〈When へ〉～するとき

There were a lot of organic vegetables. They all looked delicious.

～がありました

〈look へ〉～に見える

She bought some organic onions, carrots and other organic vegetables.

Emma carried them in a plastic bag. They were very heavy.

ビニール袋

When she walked from the station to her home, the plastic bag broke.

〈When へ〉～するとき

She thought, “Oh, no! I can’t carry these vegetables to my home.”

Then an old woman spoke to her. “How can I help you?”

ある日曜日の朝、エマは絵をかくために電車でとなりの町に行きました。

彼女は町をぐるっと歩いて、小さな古いお寺を見つけました。

その境内には美しい花の咲いたたくさんの桜の木がありました。

彼女はそこで年をとった僧侶に会いました。彼は、彼女の祖父と同じくらいの年に見えました。

彼女は彼に話しかけました。「すみません。

あれらの花の絵をかくために、境内に入ってよいですか。」

彼は言いました。「もちろん。楽しんでかいてください。」

エマが絵をかいていたとき、急に雨が降りだしました。彼女は寒く感じました。

そのとき、あの僧侶が出てきて「どうぞ入ってください。すぐにやむでしょう。」と言いました。

彼は彼女に野菜汁を渡して「寒いですか？ この暖かい汁をどうぞ。」と言いました。

「ありがとうございます。あ、このお汁に入っている野菜、とてもおいしい！」とエマが言いました。

彼は言いました。「それらは有機栽培の野菜です。

この町は有機野菜で有名なのです。

それらはほかの野菜よりも高価ですが、あなたの体にはよいのですよ。

買う価値のあるものです。」

「それは知りませんでした。わたしはそれらをどこで買えますか？」と彼女がいいました。

「駅の近くの農作物直売市で買えますよ。」

駅にもどっているとき、彼女は農作物直売市を見つけました。

たくさんの有機野菜がありました。それらはすべておいしそうに見えました。

彼女はいくつかの有機栽培のたまねぎやにんじん、そのほかの有機野菜を買いました。

エマはそれらをビニール袋に入れて運びました。それらはとても重かったです。

駅から家にむかって歩いているとき、ビニール袋が壊れました。

「まあ、いやだ！ 家まで野菜を運べないわ」と彼女は思いました。

そのとき、おばあさんが彼女に話しかけました。「どうしたの？

Oh, you have to carry your vegetables, **don't you?** Use this," she said and took out a **cloth** from her bag.

"How do you use it?" Emma asked.

"Like this," she said and unfolded it. It **became** large.

She **put** the vegetables on it and wrapped them well with it.

"Oh, it **looks like** a bag," Emma was surprised and said.

"This is a *furoshiki*. It's a traditional Japanese thing.

We use it to **wrap** different things," the woman said.

Emma said, "It's a very useful cloth."

The woman said, "Yes. I always bring one **when I go out**."

But now **young people** don't use *furoshiki* **because they look old-fashioned**.

I'm a little sad."

Emma talked with the woman about traditional Japanese things **while they were walking to Emma's home**. She enjoyed **talking** with her.

After going back home, Emma thought, "Today I had a good time.

I had two good **experiences**. I'll tell my grandparents about them."

A few days ago I visited the next town to paint pictures.

I found beautiful cherry trees at an old temple.

There was an old priest like you in the temple, grandfather.

He **gave organic vegetable soup to me**. It was very delicious.

I learned organic vegetables are better for our bodies than other vegetables.

On that day I met an old woman too. She helped me when I was in trouble.

She **showed me the way** to wrap things with a *furoshiki*.

We became good friends. We talked a lot about traditional Japanese things.

まあ、あなた、野菜を運ばないといけないのよね、そうでしょう? これを使って。」と彼女は言っ
てかばんから布を取り出しました。

「どう使うのですか?」とエマがたずねました。

「こういうふうに。」と言って、おばあさんはそれを広げました。それは大きくなりました。

彼女は野菜をそれに置いてじょうずにくるみました。

「まあ、かばんみたいに見えますね。」とエマがおどろいて言いました。

「これは、ふろしきです。伝統的な日本のものよ。

いろいろな物をくるむのに使うの。」とその女性は言いました。

エマは言いました。「とても便利な布ですね。」

その女性が言いました。「そうね。私は外出するときいつも一つ持っているわ。

でも今、若い人たちは流行遅れに見えるからと、ふろしきを使わないの。

ちょっと悲しく思うわ。」

エマの家へ歩いている間、エマはその女性と伝統的な日本のものについて話しました。彼女は、女性と楽しんで話しました。

家にもどったあと、エマは思いました。「今日、私はいい時間を過ごしたわ。

私は二つのいい経験をした。おじいちゃんおばあちゃんにそれを話さなくちゃ。」

数日前、絵をかくためにとなりの町を訪れたの。

私、古いお寺できれいな桜の木を見つけたんだ。

そのお寺には、おじいちゃんみたいなお年寄りのお坊さんがいたよ。

有機野菜のスープを私にくれたんだよ。とってもおいしかった。

有機野菜はほかの野菜よりも体にいいって知ったよ。

その日、お年寄りの女の人にも会ったよ。私が困っていたとき、助けてくれたの。

彼女は、ふろしきでものを包む方法を教えてくれたんだよ。

その人とは友達になったの。伝統的な日本のものについて、たくさん話したよ。